



## 2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年8月1日

上場会社名 株式会社百十四銀行 上場取引所 東  
 コード番号 8386 URL https://www.114bank.co.jp/  
 代表者(役職名) 取締役頭取 (氏名) 森 匡史  
 問合せ先責任者(役職名) 執行役員経営企画部長 (氏名) 村松 貴幸 (TEL) 087-836-2721  
 特定取引勘定設置の有無 無  
 配当支払開始予定日 ー  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2026年3月期第1四半期の連結業績(2025年4月1日~2025年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	24,155	8.6	7,378	5.7	4,811	6.3
2025年3月期第1四半期	22,235	9.2	6,981	21.9	4,527	21.0

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 10,957百万円(410.1%) 2025年3月期第1四半期 2,148百万円(△86.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	169.28	169.26
2025年3月期第1四半期	158.56	158.53

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	5,702,684	336,834	5.9
2025年3月期	5,753,583	328,273	5.7

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 336,825百万円 2025年3月期 328,265百万円

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計-期末新株予約権)を期末資産の部合計で除して算出しております。

なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	ー	60.00	ー	85.00	145.00
2026年3月期	ー	ー	ー	ー	ー
2026年3月期(予想)	ー	88.00	ー	88.00	176.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日~2026年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	47,400	13.6	11,000	9.5	7,100	6.6	249.72
通期	98,500	9.4	24,100	21.0	15,500	13.1	545.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P6「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2026年3月期1Q	28,630,000株	2025年3月期	28,630,000株
2026年3月期1Q	198,829株	2025年3月期	209,624株
2026年3月期1Q	28,420,332株	2025年3月期1Q	28,555,260株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	
（1）経営成績に関する説明	2
（2）財政状態に関する説明	2
（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	
（1）四半期連結貸借対照表	3
（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
（継続企業の前提に関する注記）	6
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）	6
（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）	6
（セグメント情報等の注記）	6
（キャッシュ・フロー計算書に関する注記）	7
2026年3月期 第1四半期決算 補足説明資料	
1. 2026年3月期 第1四半期累計期間の損益状況（単体）	8
2. 預金等・預り資産の状況（単体）	9
3. 貸出金の状況（単体）	9
4. 金融再生法開示債権の状況（単体）	10
5. その他有価証券の評価差額（単体）	11
6. 自己資本比率（国内基準）	12

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の経常収益は、貸出金利息の増加による資金運用収益の増加や、株式等売却益の増加によるその他経常収益の増加などにより、前第1四半期連結累計期間比19億20百万円増加して241億55百万円となりました。

また、経常費用は、国債等債券売却損の増加によるその他業務費用の増加や、与信費用の増加などにより、前第1四半期連結累計期間比15億22百万円増加して167億76百万円となりました。

この結果、経常利益は、前第1四半期連結累計期間比3億97百万円増加して73億78百万円となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前第1四半期連結累計期間比2億84百万円増加して48億11百万円となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、現金預け金の減少などにより、前連結会計年度末比508億円減少して5兆7,026億円となりました。また負債は、借入金の減少などにより、前連結会計年度末比594億円減少して5兆3,658億円となりました。

なお純資産は、前連結会計年度末比85億円増加して3,368億円となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の第2四半期累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、2025年5月12日公表の数値から変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
<b>資産の部</b>		
現金預け金	861,929	780,216
コールローン及び買入手形	1,644	8,326
買入金銭債権	25,488	24,745
有価証券	1,189,932	1,161,124
貸出金	3,506,645	3,549,406
外国為替	4,373	3,589
リース債権及びリース投資資産	20,665	21,263
その他資産	64,452	73,269
有形固定資産	37,520	37,469
無形固定資産	5,407	6,136
退職給付に係る資産	35,377	35,651
繰延税金資産	732	732
支払承諾見返	17,702	18,718
貸倒引当金	△18,289	△17,965
資産の部合計	5,753,583	5,702,684
<b>負債の部</b>		
預金	4,572,471	4,662,666
譲渡性預金	122,569	80,542
コールマネー及び売渡手形	8,286	10,985
借入金	613,505	497,219
外国為替	181	2,683
その他負債	66,679	66,397
役員賞与引当金	70	—
退職給付に係る負債	275	275
役員退職慰労引当金	34	32
睡眠預金払戻損失引当金	174	163
偶発損失引当金	156	175
株式報酬引当金	216	230
繰延税金負債	17,865	20,668
再評価に係る繰延税金負債	5,118	5,091
支払承諾	17,702	18,718
負債の部合計	5,425,309	5,365,850
<b>純資産の部</b>		
資本金	37,322	37,322
資本剰余金	30,486	30,486
利益剰余金	204,899	207,346
自己株式	△565	△536
株主資本合計	272,143	274,618
その他有価証券評価差額金	35,766	42,233
繰延ヘッジ損益	△16	△51
土地再評価差額金	7,593	7,532
退職給付に係る調整累計額	12,778	12,492
その他の包括利益累計額合計	56,121	62,207
新株予約権	8	8
純資産の部合計	328,273	336,834
負債及び純資産の部合計	5,753,583	5,702,684

( 2 ) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第 1 四半期連結累計期間

( 単位 : 百万円 )

	前第 1 四半期連結累計期間 ( 自 2024年 4 月 1 日 至 2024年 6 月 30 日 )	当第 1 四半期連結累計期間 ( 自 2025年 4 月 1 日 至 2025年 6 月 30 日 )
経常収益	22,235	24,155
資金運用収益	14,381	16,200
( うち貸出金利息 )	10,057	11,026
( うち有価証券利息配当金 )	3,722	3,843
役務取引等収益	3,018	3,093
その他業務収益	1,811	1,011
その他経常収益	3,024	3,849
経常費用	15,254	16,776
資金調達費用	3,685	3,935
( うち預金利息 )	1,371	2,577
役務取引等費用	945	1,006
その他業務費用	706	1,073
営業経費	8,133	8,597
その他経常費用	1,782	2,164
経常利益	6,981	7,378
特別利益	10	10
固定資産処分益	10	10
特別損失	97	153
固定資産処分損	93	55
減損損失	3	97
税金等調整前四半期純利益	6,895	7,235
法人税等	2,367	2,424
四半期純利益	4,527	4,811
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,527	4,811

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2025年4月1日 至2025年6月30日)
四半期純利益	4,527	4,811
その他の包括利益	△2,379	6,146
その他有価証券評価差額金	△2,162	6,467
繰延ヘッジ損益	64	△34
退職給付に係る調整額	△281	△286
四半期包括利益	2,148	10,957
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,148	10,957

( 3 ) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の処理

当行及び連結子会社の税金費用は、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じるにより算定しております。

(セグメント情報等の注記)

前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの経常収益及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	銀行業	リース業	計				
経常収益							
外部顧客に対する 経常収益	20,051	1,731	21,782	453	22,235	—	22,235
セグメント間の 内部経常収益	218	153	371	906	1,278	△1,278	—
計	20,269	1,884	22,154	1,360	23,514	△1,278	22,235
セグメント利益	6,764	87	6,852	377	7,229	△248	6,981

(注) 1. 一般企業の売上高に代えて、それぞれ経常収益を記載しております。また、調整額につきましては、経常収益と四半期連結損益計算書の経常収益計上額との差異について記載しております。

2. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、クレジットカード業及び信用保証業等を含んでおります。

3. セグメント利益の調整額△248百万円は、主にセグメント間取引消去であります。

4. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの経常収益及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	銀行業	リース業	計				
経常収益							
外部顧客に対する 経常収益	21,855	1,774	23,629	525	24,155	—	24,155
セグメント間の 内部経常収益	219	158	378	926	1,305	△1,305	—
計	22,074	1,933	24,008	1,452	25,460	△1,305	24,155
セグメント利益	7,023	151	7,174	464	7,639	△260	7,378

(注) 1. 一般企業の売上高に代えて、それぞれ経常収益を記載しております。また、調整額につきましては、経常収益と四半期連結損益計算書の経常収益計上額との差異について記載しております。

2. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、クレジットカード業及び信用保証業等を含んでおります。

3. セグメント利益の調整額△260百万円は、主にセグメント間取引消去であります。

4. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	654百万円	766百万円

2026年3月期 第1四半期決算 補足説明資料

1. 2026年3月期 第1四半期累計期間の損益状況（単体）

2026年3月期第1四半期累計期間の経常収益は、貸出金利息の増加による資金運用収益の増加などにより、前年同期比18億5百万円増加して220億74百万円となりました。

コア業務純益は、資金利益の増加などにより、前年同期比2億77百万円増加して64億22百万円となりました。

経常利益は、コア業務純益の増加及び株式等関係損益の増加などにより、前年同期比2億59百万円増加して70億23百万円となりました。

四半期純利益は、前年同期比1億82百万円増加して46億71百万円となりました。

(単位：百万円)

	2025年3月期 第1四半期 (A)	2026年3月期 第1四半期 (B)	2026年3月期		2026年3月期 中間期予想
			前年同期比 (B)-(A)	増減率(%)	
<b>経常収益</b>	<b>20,269</b>	<b>22,074</b>	<b>1,805</b>	<b>8.9</b>	<b>42,400</b>
コア業務粗利益 ①	14,143	14,914	771	5.5	
資金利益	10,823	12,407	1,584	14.6	
役務取引等利益	1,509	1,495	△14	△0.9	
その他業務利益(除く債券関係損益)	1,811	1,011	△800	△44.2	
経費 ②	7,998	8,492	494	6.2	
<b>コア業務純益 ①-②</b>	<b>6,145</b>	<b>6,422</b>	<b>277</b>	<b>4.5</b>	
コア業務純益(除く投資信託解約損益)	5,737	6,071	334	5.8	
債券関係損益 ③	△706	△1,073	△367	—	
実質業務純益 ①-②+③	5,439	5,349	△90	△1.7	
一般貸倒引当金繰入額(注2) ④	—	△37	△37	—	
業務純益 ①-②+③-④	5,439	5,386	△53	△1.0	
臨時損益	1,325	1,637	312	23.5	
不良債権処理費用 ⑤	246	782	536	217.9	
うち貸出金償却	202	300	98	48.5	
うち個別貸倒引当金繰入額(注2)	—	377	377	—	
貸倒引当金戻入益(注2) ⑥	838	—	△838	—	
償却債権取立益 ⑦	167	132	△35	△21.0	
株式等関係損益 ⑧	120	1,605	1,485	1,237.5	
その他臨時損益	444	682	238	53.6	
<b>経常利益</b>	<b>6,764</b>	<b>7,023</b>	<b>259</b>	<b>3.8</b>	<b>10,200</b>
特別損益	△87	△146	△59	—	
法人税等合計	2,187	2,205	18	0.8	
<b>四半期純利益</b>	<b>4,489</b>	<b>4,671</b>	<b>182</b>	<b>4.1</b>	<b>6,700</b>
有価証券関係損益 ③+⑧	△585	532	1,117	—	
与信関係費用 ④+⑤-⑥-⑦	△759	613	1,372	—	

(注) 1. 金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. 2025年3月期第1四半期は、一般貸倒引当金繰入額と個別貸倒引当金繰入額の合計額が取崩超過となりましたので、取崩超過額を「臨時損益」の貸倒引当金戻入益に計上しております。

2. 預金等・預り資産の状況（単体）

当第1四半期末の預金等残高は、個人、法人及び公共預金がいずれも増加したことにより、前年度末比476億円増加して4兆7,588億円となりました。

また、当第1四半期末の預り資産残高は、投資信託及び一時払保険が増加したことにより、前年度末比96億円増加して3,866億円となりました。

	(単位：億円)			【参考】	(単位：億円)	
	2025年6月末	2024年6月末比	2025年3月末比		2024年6月末	2025年3月末
預金等(注)	47,588	△661	476		48,250	47,112
個人	26,803	△407	197		27,210	26,606
法人	18,753	△400	182		19,154	18,571
公共	2,031	146	96		1,885	1,935

(注) 預金等とは、預金及び譲渡性預金であります。

	(単位：億円)			【参考】	(単位：億円)	
	2025年6月末	2024年6月末比	2025年3月末比		2024年6月末	2025年3月末
預り資産(注)	3,866	277	96		3,589	3,770
投資信託	1,452	202	76		1,250	1,376
一時払保険	2,316	84	20		2,232	2,296
金融商品仲介	97	△8	△0		106	97

(注) 預り資産は、各期末日における時価ベースの残高であります。

3. 貸出金の状況（単体）

当第1四半期末の貸出金残高は、法人向け、公共向け及び個人向け貸出金がいずれも増加したことにより、前年度末比433億円増加して3兆5,561億円となりました。

また、当第1四半期末の中小企業等貸出金残高は、前年度末比158億円増加して2兆5,289億円となりました。

	(単位：億円)			【参考】	(単位：億円)	
	2025年6月末	2024年6月末比	2025年3月末比		2024年6月末	2025年3月末
貸出金	35,561	1,155	433		34,406	35,128
個人向け貸出金	6,068	73	25		5,994	6,042
うち住宅ローン	5,724	43	20		5,680	5,703
法人向け貸出金(注1)	27,169	1,178	369		25,991	26,799
公共向け貸出金	2,324	△96	38		2,420	2,285
中小企業等貸出金(注2)	25,289	478	158		24,811	25,130
中小企業等貸出金比率	71.11%	△1.00pt	△0.43pt		72.11%	71.54%
信用保証協会保証付貸出金	1,706	△83	△33		1,789	1,740

(注) 1. 法人向け貸出金には、個人事業主向け貸出金を含めております。

2. 中小企業等貸出金とは、中小企業及び個人向け貸出金であります。

4. 金融再生法開示債権の状況（単体）

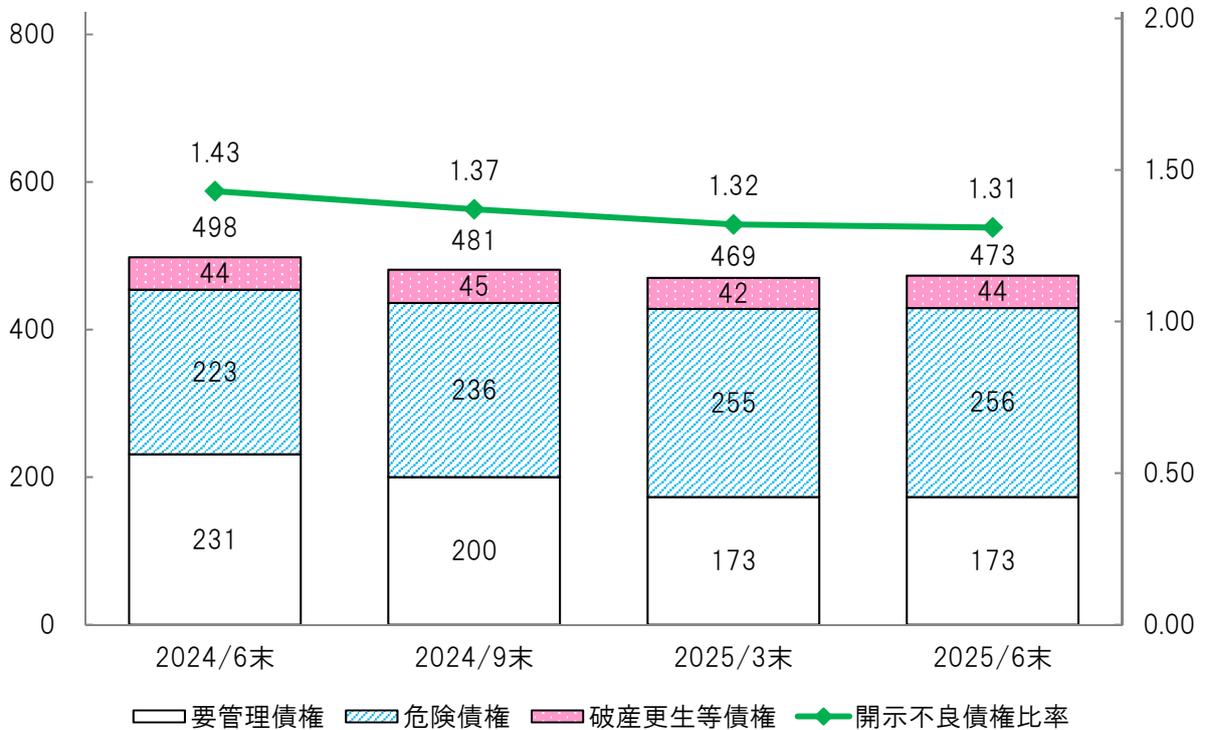
不良債権に対しては、お取引先の経営支援に積極的に取り組みつつ、担保及び貸倒引当金により適正かつ十分な対応を行っております。

当第1四半期末の金融再生法開示基準による不良債権残高は、前年度末比4億円増加して473億円となりました。また、総与信残高に占める開示不良債権比率は、前年度末比0.01ポイント低下して1.31%となりました。

金融再生法開示債権	(単位：億円) 【参考】			(単位：億円)	
	2025年6月末	2024年6月末比	2025年3月末比	2024年6月末	2025年3月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	44	0	2	44	42
危険債権	256	33	1	223	255
要管理債権	173	△58	0	231	173
開示不良債権合計	473	△25	4	498	469
正常債権	35,488	1,160	431	34,328	35,057
総与信残高	35,961	1,135	435	34,826	35,526
開示不良債権比率	1.31%	△0.12pt	△0.01pt	1.43%	1.32%

開示不良債権残高(億円)

開示不良債権比率(%)



5. その他有価証券の評価差額（単体）

当第1四半期末の「その他有価証券」の評価差額は、前年度末比93億円増加して605億円となりました。

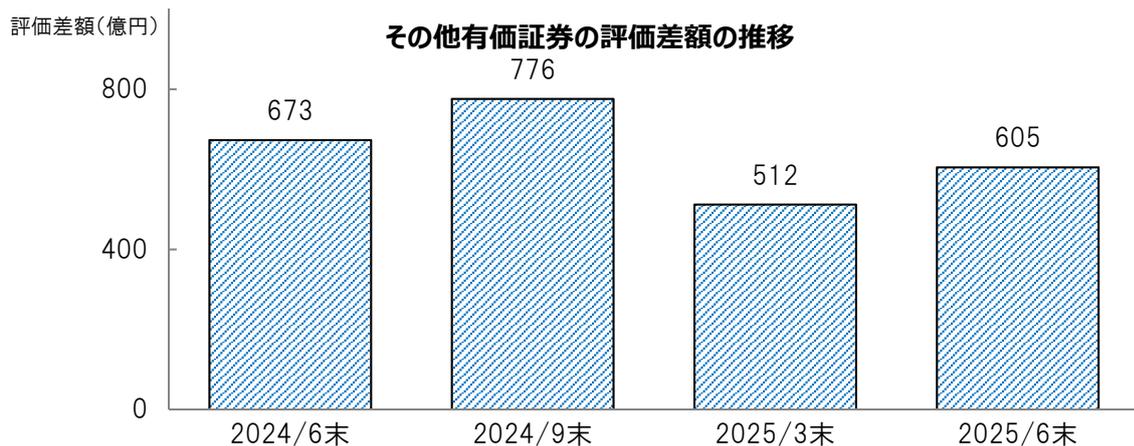
	2025年6月末					【参考】2024年6月末		2025年3月末			
	評価差額					評価差額		評価差額			
		2024年 6月末比	2025年 3月末比	うち益	うち損	うち益	うち損	うち益	うち損		
その他有価証券	605	△67	93	970	365	673	1,077	404	512	936	424
株式	945	△93	33	952	7	1,038	1,049	10	911	918	6
債券	△264	△34	40	0	264	△229	0	229	△304	0	304
その他	△75	60	19	17	93	△136	28	164	△94	18	113

（注）「その他有価証券」は時価評価しておりますので、評価差額は貸借対照表価額と取得原価との差額を計上しております。

【参考】日経平均株価と長期金利の推移



その他有価証券の評価差額の推移



6. 自己資本比率（国内基準）

2025年6月末基準の連結自己資本比率（国内基準）は、前年度末比0.01ポイント上昇して9.34%となりました。

(1) 連結自己資本比率（国内基準）

	(単位：億円)			【参考】	(単位：億円)	
	2025年6月末	2024年6月末比	2025年3月末比		2024年6月末	2025年3月末
①連結自己資本比率(②/③) (注1)	9.34%	0.22pt	0.01pt		9.12%	9.33%
②連結における自己資本の額	2,677	69	38		2,607	2,638
③リスク・アセットの額 (注2)	28,663	85	400		28,578	28,263
④連結総所要自己資本額	1,146	3	16		1,143	1,130

(2) 単体自己資本比率（国内基準）

	(単位：億円)			【参考】	(単位：億円)	
	2025年6月末	2024年6月末比	2025年3月末比		2024年6月末	2025年3月末
①自己資本比率(②/③) (注1)	8.79%	0.19pt	0.01pt		8.60%	8.78%
②単体における自己資本の額	2,499	60	37		2,439	2,462
③リスク・アセットの額 (注2)	28,437	97	407		28,340	28,029
④単体総所要自己資本額	1,137	3	16		1,133	1,121

- (注) 1. 自己資本比率は、銀行法第14条の2の規定に基づき、銀行がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準（2006年金融庁告示第19号）に定められた算式に基づき算出しております。なお、当行は国内基準を適用しており、2025年3月末よりバーゼルⅢ基準にて自己資本比率を算出しております。
2. 信用リスク・アセットの算出においては標準的手法を、オペレーショナル・リスク相当額の算出においては2025年6月末及び2025年3月末は標準的計測手法を、2024年6月末は粗利益配分手法を採用しております。